

2021. **12**
No. **212**

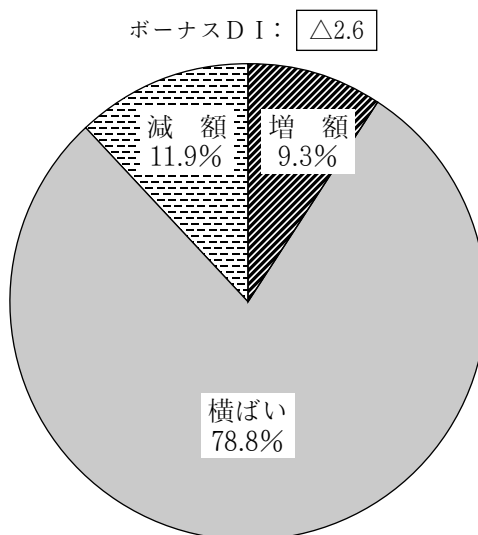
調査レポート

2021年冬季

県内民間ボーナス支給見通し

－ ボーナスD I は6期連続のマイナスも抑制傾向は緩和 －

冬季民間ボーナス支給見通し（全産業）



「第91回県内企業経営動向調査」から



山梨中央銀行

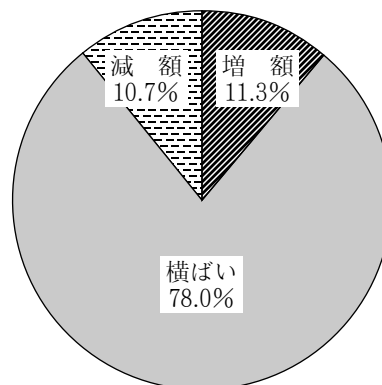
当行の第91回県内企業経営動向調査（10月上旬実施、回答企業319社）によると、今冬のボーナス支給予定額は、昨冬の支給額に対して「増額」回答先割合が9.3%（昨冬調査4.6%）、「横ばい」回答先割合が78.8%（同57.8%）、「減額」回答先割合が11.9%（同37.6%）となった。

この結果、冬季のボーナスDI（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は△2.6で6期連続のマイナス（「減額」超）となったものの、冬季として過去2番目に低い水準であった昨冬（△33.0）からは、30.4ポイントの大幅な上昇となった。

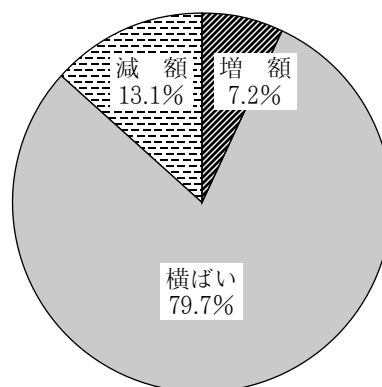
今回実施した企業経営動向調査において、2021年度上期の業況は、受注、生産が好調な機械工業に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で地場産業や非製造業では改善に遅れがみられたことから、全体としては悪化した。一方、2021年度下期の業況見通しについて、半導体をはじめとした部品・部材不足や原油・原材料価格の上昇など不安要素はあるものの、ワクチン接種の広がり

冬季民間ボーナス支給見通し

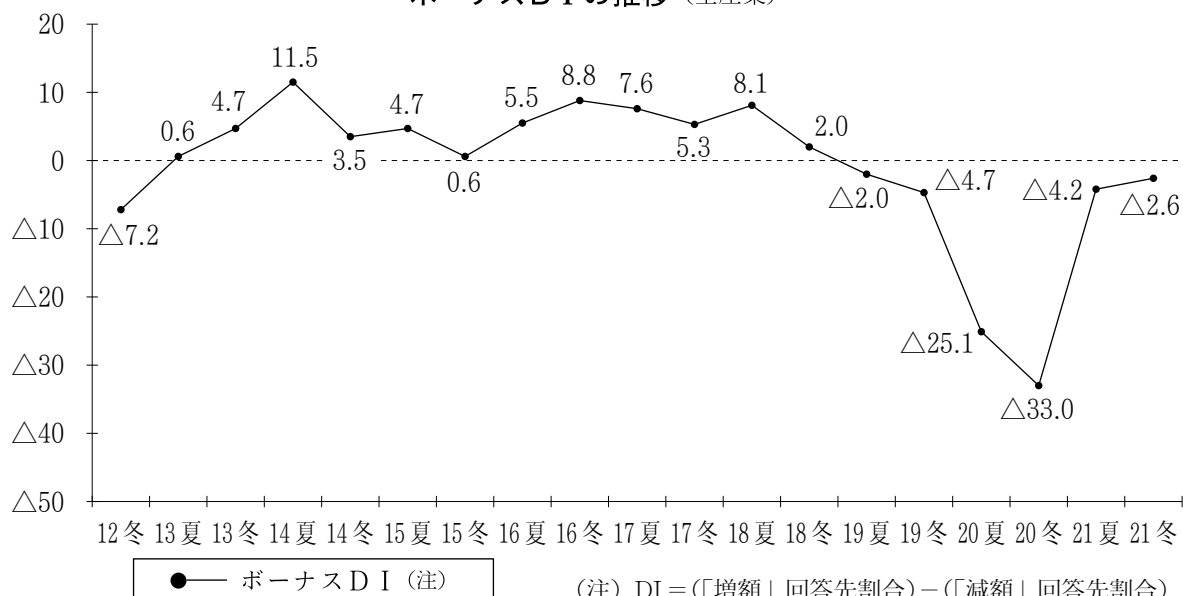
（製造業） ボーナスDI： 0.6



（非製造業） ボーナスDI： △5.9



ボーナスDIの推移（全産業）



による同感染症収束への期待などから、好転を見込んでいる。

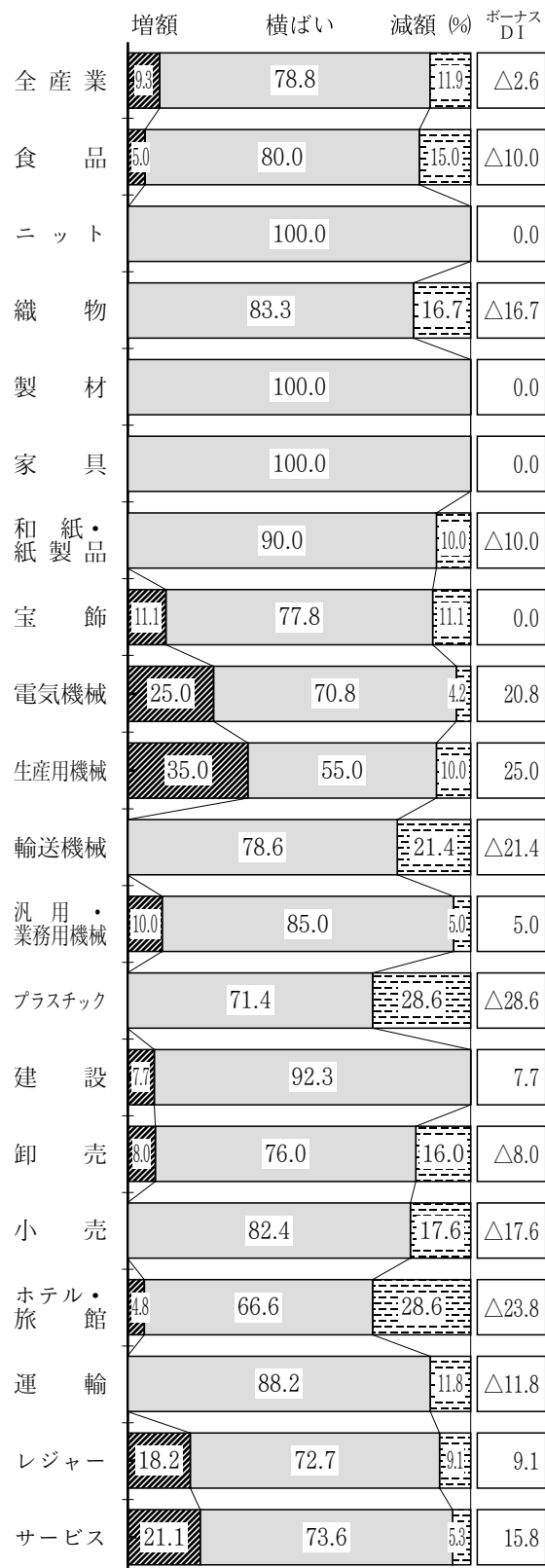
同調査により雇用面をみると、雇用D Iは前期と比べてマイナス幅が拡大しており、県内企業の人手不足感は強まっている。また、経営上の問題点をみても「従業員の高齢化」、「人材・技術不足」、「労働力不足」など、雇用に関する項目が上位にランキングされている。

このように、企業の景況感は悪化したものの、先行きへの期待や雇用情勢の逼迫感がボーナス支給見通しに反映され、ボーナスD Iのマイナス幅が縮小したと考えられる。

業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が11.3%（昨冬6.0%）、「減額」回答先割合が10.7%（同39.3%）となった。この結果、ボーナスD Iは0.6と、昨冬（△33.3）と比べて33.9ポイント上昇し、わずかながらも6期ぶりの「増加」超となった。このうち機械関連では、輸送機械が「減額」超となった一方、生産用、電気、汎用・業務用の各機械は「増額」超となった。機械関連以外では、プラスチック、織物、食品、和紙・紙製品が「減額」超となった。なお、ニット、製材、家具ではすべての先が「横ばい」と回答し、宝飾は「増額」先と「減額」先が同数となった。

非製造業は、「増額」回答先割合が7.2%（昨冬3.2%）、「減額」回答先割合が13.1%（同35.9%）となった。この結果、ボーナスD Iは△5.9と昨冬（△32.7）と比べて26.8ポイント上昇したが、5期連続の「減額」超となった。サービス、レジャー、建設が「増額」超となった一方、ホテル・旅館、小売、運輸、卸売が「減額」超となった。

冬季民間ボーナスの業種別支給見通し





山梨中銀 SDGs応援ローン

当行は SDGs の目標達成のため、
お客さまの成長・地域経済の持続的発展に
積極的に取り組んでまいります。

融 資 対 象	以下の（１）および（２）の要件をすべて満たす法人・個人事業主のお客さま （１）当行営業エリア内において事業を営んでいる （２）「SDGs」の趣旨に賛同するとともに、「SDGs」の17目標に対して、1項目以上の具体的な施策を実施している、または実施しようとしている
資 金 使 途	運転資金・設備資金
融 資 金 額	1億円以内
融 資 形 式	手形貸付、証書貸付
融 資 期 間	手形貸付 1年以内 証書貸付 運転資金：5年以内（据置1年以内） 設備資金：15年以内（据置1年以内）
金 利 条 件	当行所定金利
返 済 方 法	手形貸付：元金一括返済 証書貸付：元金均等分割返済
担 保 ・ 保 証 人	個別の審査となります

※ 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ

ふ れ あ い ハ ロ ー に
☎ 0120-201862 照会コード 9

〈受付時間〉
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)